

# 特別委員会活動報告

12月定例会に、主要道路街路等建設促進特別委員会及び議会改革調査特別委員会から調査活動について、委員長より報告があり、了承された。

報告の概要は次のとおりである。

## 議会改革調査

平成16年12月20日に付託された調査事項について、調査活動が終了したので、報告する。

### 1 議員定数に関すること

①定員定数を「24名」から「21名」に改める。

### 2 常任委員会に関すること

①常任委員会を「4常任委員会」から「3常任委員会」に改める。

②常任委員会の名称は、

- 総務財政常任委員会
  - 教育民生常任委員会
  - 建設産業常任委員会
- とする。

### 3 議員報酬に関すること

①議員の報酬については、

地方分権自治は議員により専門性が求められること、

さらには、あらゆる層の市民が立候補しやすい環境づくりのためにも報酬を引き上げるべきである、との意見があったが、慎重に検討を重ねた結果、地域の経済情勢や社会情勢を考慮しながら、議員報酬は見直す方向で検討すべきである。

### 4 その他議会改革に関すること

(1)費用弁償について

現状維持とする。

(2)議員に各種審議会及び委員会等の就任見直しについて

法に基づくものは、選任する、その他は、議員からの選任はしない。

## 主要幹線街路等建設促進

11月4日に会議を開き、関係部課長の出席を得て、都市計画道路「沖の沢郡山線」の進捗状況、国道4号4車線化及び国道113号小原地区歩道設置工事の現況及び進捗状況についての報告を受けた。

最初に、都市計画道路「沖の沢郡山線」については、平成14年度から平成20年度までの事業認可を受けているが、国の補助の關係で平成22年度まで事業が延びる予定である。平成14年度から平成16年度までの事業費は14億6千3百



県選出議員に要望活動

万円です。平成17年度は28%である。平成17年度は東北本線の下部工をJRに工事委託している。また、斎川の橋梁の下部工の工事等を含めて今年度は3億6千2百万円で実施しており、平成17年度末での事業費ベースの進捗率は35%である。なお、用地買収は1件が未買収であり、現在交渉中である。建物等移転補償は64件で全て終了している。平成18年度は東北本線跨線橋の下部工と斎川、谷津川の護岸工事を含めた橋台工事等で事業費5億円を予定している。平成19年度以降も順次工事を進めながら平成22年度完成を見込んでいる。

次に、国道4号4車線化にかかる新白石大橋工事については、床版工事がほぼ終了し、舗装工事を残すだけとなっており、平成18年3月には完成する予定である。次に、国道113号小原歩道設置工事については、1期工事の平成15年度から平成17年度の工事費は3億8千万円です。事業費ベースの進捗率は

76%の状況で、平成19年度までに予定どおり工事が完了する。また、2期工事は平成20年度から平成24年度までの5カ年計画もあるので、これらについても逐次要望をしていく。

これらの状況から、都市計画道路「沖の沢郡山線」については、国の厳しい財政事業の下であるが、安全で安心できる道路整備が必要不可欠なことから、平成18年度以降に持により、所要の予算確保に向け、関係機関への働きかけを行う必要があると認識し、11月22日には国土交通省東北地方整備局、宮城県土木部、さらに11月29日には国土交通省、宮城県選出国會議員に風間市長、高橋議長と共に要望活動を行った。

本特別委員会としては、今後においても都市計画道路「沖の沢郡山線」など調査事項の整備促進に向け関係機関に対し、時宜を得た要望活動を行うていくことを確認したところである。